

## 編集後記

新潟国際情報大学経営情報学部は、2018年4月に情報文化学部情報システム学科から、経営学科と情報システム学科の2学科体制に移行しました。経営学科は今年度はじめての卒業生を送り出します。4年間にわたる経営学の教育、研究の成果が問われる大事な時期を迎えていますが、昨年度はコロナ禍で翻弄された1年となってしまいました。前期は遠隔授業で対応しましたが、後期からは万全の体制を整えながら対面授業を実施しました。

学会、研究会の会合や発表会のほとんどがオンラインで開催され、また現地調査なども制約される中で、研究活動はかなり厳しい条件の中で実施することとなりました。

このような環境にもかかわらず本号（Vol.4）では紀要論文8本、研究ノート3本に加え、地域貢献報告書1本の投稿がありました。遠隔授業に関するものは紀要論文と研究ノートにそれぞれ1本、含まれています。また本号からの新たな試みとして経営情報学部に所属する教員の研究業績を任意で掲載するとしました。関連する分野の研究者ネットワークを充実していく上で積極的に活用して頂ければと期待しております。

日本や世界に目を向ければ、コロナ禍の中、SDG's やデジタルトランスフォーメーションが話題とならない日はありません。あるいは人工知能や蓄電池などなど、次代を切り拓いていく際に鍵となると考えられる技術の開発や導入が急速に進んでいます。このような状況の中で、大学における研究活動は益々重要となってきています。大学院や研究所を有しない地方の小規模な私立大学として、経営情報学部紀要を学部教育を中心としながら研究活動や地域活性化等における報告の場として、また全国の研究者たちとの交流のきっかけを提供する場として利用頂ければ幸いです。

最後に、紀要論文等を執筆された皆さん、本学総務課の登坂幸太さん、印刷・校正を担当された第一印刷所の滝澤勇太さんに感謝します。

経営情報学部長  
(兼) 紀要編集委員長  
小林 満男